

2020年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
リハビリテーション学	1	緑生館 理学療法学科 作業療法学科 専任教員	作業療法士・理学療法士としての臨床経験がある教員によるレクチャー授業。
看護学概論	1	長田 晶子	病院・施設・在宅での看護経験と教員経験から看護学概論を教授する。
基礎看護学基本技術	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が、看護の基礎となるコミュニケーション技術や身体審査技術・感染予防などについて実技・演習を交えながら展開する。
		高松 由美子	急性・慢性・終末期看護の実務経験がある専任教員が、苦痛の緩和と安楽への援助について教授する。
基礎看護学日常生活援助技術	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が、基本動作を踏まえながら根拠に基づいた日常生活援助技術が身につくよう実技・演習を中心に展開する。
		高松 由美子	急性・慢性・終末期看護の実務経験がある専任教員が、主に栄養・排泄の単元を教授する。また技術試験の評価についても担当する。
基礎看護学臨床看護総論	1	高松 由美子	急性・慢性・終末期看護の実務経験がある専任教員が、経過別にみた主要症状と治療時の看護について教授する。
		井上 郁恵・木口 亜希	急性・慢性期看護の実務経験を有する専任教員が、呼吸障害の症状と看護について講義・演習を行う。
基礎看護学看護過程	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が、事例を使い実習現場で活用可能な思考過程が展開できるよう、演習を中心に進め記録を通し指導する。
基礎看護学診療の補助技術	1	井上 郁恵	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が、講義では治療・処置・検査を受ける対象への補助技術について必要な知識・技術・態度が身につくように演習を中心に展開する。
看護研究	1	高松 由美子	看護実践の実務経験がある専任教員が、看護研究の種類やアプローチを講義するとともに、文献研究の論文作成を行う。
基礎看護学実習	2	井上 郁恵 他	急性期・慢性期看護の実務経験がある専任教員が、他の専任教員とともに既習した授業を生かし、実際の患者を通して看護過程の展開と日常生活援助の実際について実習指導していく。
成人看護学概論	1	神谷 新香	急性期・慢性期・終末期の実務経験がある専任教員が、成人期の生活と健康に関する基本的知識の理解基盤とし、多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的考え方や方法について講義を行う。
成人看護学終末期看護	1	神谷 新香	終末期看護の実務経験がある専任教員が、肝臓・肝硬変で死期に近づいている対象の看護展開を事例演習を取り入れながら講義を行う。
		高松 由美子	終末期看護の実務経験がある専任教員が、造血器疾患を抱えながら、終末期に至る対象の看護について症状緩和の方法を講義する
成人看護学実習	2	神谷 新香 他	急性期・慢性期・終末期の実務経験がある専任教員である。

2020年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
老年看護学概論	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が、高齢者を社会的存在の生活者として理解するために、ライフサイクルの中での老年期をとらえ、加齢に伴う変化の特徴とその健康生活について講義する。また高齢者を支える機関や、高齢者を取り巻く社会情勢について講義する。
高齢者の日常生活援助と看護	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が、高齢者の生活機能の観点からケアを行い、様々な健康状態にある高齢者のQOL(生活の質)の向上や個別性に応じた日常生活を整える援助技術について講義・演習を行う。
高齢者の健康障害時の看護	1	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が、老年期特有の疾病・健康障害について学び、老化と疾病・障害の程度に応じた老年看護の実践について講義・演習を行う。また、人生の最期である看取りについて講義する。
老年看護学実習	2	片山 美奈子	老年看護の実務経験がある専任教員が、老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から全人的に理解し、加齢と健康障害の程度に応じ、対象の個性性を重視し、対象とその家族を含めた看護を展開・実践できるよう指導していく。
小児看護学概論	1	木口 亜希	小児科の実務経験がある専任教員が、子どもの最善の利益を守ること、小児と家族の成長・発達の特徴、取り巻く社会環境を理解し、様々な健康状態および発達段階にある小児とその家族を対象とし、健やかな発達の支援を行うために必要な基本的な知識や方法について講義する。
小児看護学発達と疾病論	1	木口 亜希	小児科の実務経験がある専任教員が、運動器や消化器疾患の疾病の特徴や治療、回復を促すための看護について講義する。
		芳野 信	小児科の臨床経験および研究実績を有する医師であり、当校の学校長が、小児疾病の中でも先天性異常、循環器・呼吸器・血液・神経疾患、感染症について講義する。
小児看護学臨床看護実践論	1	木口 亜希	小児科および重症心身障害児病棟の実務経験がある専任教員が、様々な健康状態にある小児の看護に関する基本的知識と技術を講義する。川崎病・気管支喘息患児の事例展開を通して、実践に向け、成長・発達、小児を取り巻く環境を理解し、小児および家族への関り、健康増進へ向けた援助を講義する。
小児看護学実習	2	木口 亜希	小児科および重症心身障害児病棟での実務経験がある専任教員である。
母性看護学概論	1	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が、リプロダクティブヘルス/ライツの概念に基づき社会の動向を踏まえて、女性と女性を取り巻く環境を理解し、健康支援の概要が理解できる講義を行う。
母性周産期看護	1	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が、妊娠期・分娩期と新生児のケアができる基礎的知識が習得できる講義を行うとともに、命の神秘性や自分の誕生について考えられる講義を行う。
母性臨床看護論	1	中河 亜希	産婦人科の臨床経験や講義の実務経験がある専任教員（助産師）が、母性看護学概論や母性周産期看護論の学びを実践に結びつけられるよう事例を通し講義を行う。実習で受け持つ産褥期についての基礎的知識を講義し、周産期における看護が理解できるよう演習を取り入れながら講義する。
母性看護学実習	2	中河 亜希	産婦人科での臨床経験や講義の実務経験がある専任教員である

2020年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
精神看護学概論	1	宮岡 淳	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員が、こころの構成や健康、現代社会における健康問題について理解するための知識や統計を学ぶとともに、精神障害者に関する法律や人権尊重と倫理について講義する。また、患者-看護師関係の援助的関係について、精神科で活用される看護理論も含め学び、こころに障害を持った人への人間理解と看護師としての自己洞察能力を修得する基礎となる講義を行う。
精神障害の病理と臨床看護	1	宮岡 淳	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員が、こころの健康障害の分類や疾患・症状について学び、こころの健康障害を持つ人々の健康の回復、保持・増進、疾病予防の援助に必要な知識・技術を習得するために、臨床で経験した事例を提示したり、看護場面を想定したロールプレイを実施し、実際の臨床場面や看護を実感できる授業を展開していく。
精神看護の展開	1	宮岡 淳	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員が、こころに障害を持った対象とその家族に対してその人なりの健康の保持増進と自立を支援する方法や社会復帰を促進する援助について、ケア理論を含め講義する。また、事例を通して看護過程を展開させ、対象理解や看護介入方法などを学び、看護問題に対する援助計画の立案や実際について理解できるための講義を行う。
精神看護学実習	2	宮岡 淳	精神科の臨床看護や訪問看護の実務経験がある専任教員が、こころの健康問題をもつ人や家族との関わりを通して対象を全人的に理解し、こころの健康回復に向けての臨床看護を展開・実践できるよう指導していく。また、実際の看護場面を「モデル」で再構成し、看護師としての自己洞察能力を養うための指導を行う。
在宅看護概論	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）である。在宅看護の歴史や社会的背景から、在宅看護の必要性について考え、グループディスカッションを通して在宅看護の概念を捉えていく。また、対象者の生活を支える様々な法律・制度・関連する職種とその役割など保健医療福祉の概要を理解し、在宅看護を展開する為に必要な基礎的知識を修得するための指導を行う。
在宅看護の展開	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）である。対象者の権利・価値観・生活観をふまえ、あらゆるライフステージ・健康レベルにある対象に応じたケア介入方法を学ぶ。また、社会資源の活用や多職種連携と協働の必要性を理解するため、療養生活の中で起こる問題の予測と予防・災害時の対応など、様々な場面を想定したロールプレイを行い、看護の独自性・継続性を思考する力を養うための指導を行う。
在宅看護の実際	1	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）である。各看護学領域や基礎分野・専門基礎分野で学んだ知識と技術を統合応用し、生活の場において支援を必要とする療養者とその家族の生活の質の維持・向上・低下防止を目指した看護を展開する力を養う。また、安全安楽な医療処置・管理や指導方法など、情報収集・分析・判断を基に、療養者・家族の個々の価値観や生活観に応じた具体的な援助方法や実践的な在宅看護技術を習得する。
在宅看護論実習	2	本松 邦恵	訪問看護・施設看護の実務経験がある専任教員（保健師）が、訪問看護ステーション・保健センター・保健福祉事務所での実習を通して、地域で生活するあらゆる健康レベルにある個人・家族・集団を理解し、在宅看護を実践する基礎的能力を養うための指導を行う。
看護管理	1	長田 晶子	看護師長等の臨床経験から看護の管理的側面の教授を行う。
国際看護	1	中河 亜希 他	海外での医療活動経験と国際社会開発に関する単位を修得している専任教員および非常勤講師が、できるだけ分かり易く国際的な視点で健康課題や看護問題を考えられるように、身近な問題を取り上げたり体験を紹介しながら講義を行う。

2020年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（専攻看護学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
統合学習Ⅰ	1	片山美奈子・宮岡淳 他	病院・施設等で看護師としての実務経験をもつ専任教員が複数で担当する。解剖生理学・病理学の学習内容を系統別に分類し、看護学と関連させた問題を15回受験する。単元試験を通して専門基礎分野と看護の知識の統合を図る。
統合学習Ⅱ	1	高松 由美子 他	各看護専門領域の実務経験をもつ教員（全員）で対応する。事例学習を通して、問題解決能力・看護技術力を高める機会としている。
統合学習Ⅲ	1	高松 由美子 他	各看護専門領域の実務経験をもつ教員（全員）で対応する。国家試験対策の講義を実施後、その評価・復習として15回の試験を実施する。講義・自己学習・単元試験の学習サイクルを通して看護の知識の統合を図る。
統合実習	2	木口 亜希 他	病院・施設等で看護師としての実務経験をもつ専任教員が複数で担当する。病棟でのチームワーク実習、外来実習、看護管理実習を組み合わせしており、看護ケアのマネージメントの実際を理解できるよう指導する。
合計	46 単位		